

2025年(令和7年)5月14日 水曜日

地

「のしろ家守舎」

市街地活性化へ

湊代表思い語る

年内に新たな拠点も

能代市中心部で空き店舗の再生や活性化イベントに取り組む合同会社「のしろ家守舎」代表の湊哲一さん(47)が10日、市中央公民館で講演し、新たな拠点の開設など今後の取り組みや市街地活性化への思いを語った。

能代出身の湊さんは横浜市で注文家具の製作に携わり、2017年にUターン。20年に市内の若手経営者と家守舎を設立し、JR能代駅近くの酒店跡を大規模改修した複合

まちづくりへの思いを語っている」と語った。

湊さん



今年中にマルヒコビル向かいの店舗跡を新たな拠点とする計画を発表。「まずは誰でも自由に使えるスペースとし、地域住民の交流や商業活動の場としたい」と述べた。

能代の木材産業を生かした誘客やにぎわいづくりにも意欲を示し、「市内の製材所では、日頃は触れることのない巨大な原木などを置いており見て楽しめる。ツアーなどができるのか模索したい」と話した。

施設「マルヒコビルディング」を運営。中心街を歩行者天国にしてのイベント「のしろいち」にも携わっている。講演では、これまでの活動について「幅広い世代が参加し、着実に人の流れが生まれ

講演会は市内で生涯学習を推進する団体・市民おもしろ塾の主催。約20人が聴いた。

(佐藤辰)